

先端建設技術セミナー

特別講演

「ロボット技術とその知能化～研究開発と社会実装～」

東京大学 人工物工学研究センター長 浅間 一

近年、人工知能とともにロボット技術が再び注目されており、様々なサービス分野でのロボット技術の需要が高まっている。しかるに、これまでサービスロボットの研究開発が盛んに進められてきたにもかかわらず、その社会における普及は必ずしも進んでいない。

例えば、福島原発の事故対応・廃炉措置において、これまでに様々なロボット技術が活用されているが、事故直後、迅速かつスマーズにロボット技術を導入することは極めて困難であった。災害時には、人間が立ち入ることが困難、危険、不可能な環境が多く、ロボットの投入が期待されているものの、その社会実装は容易ではない。

本講演では、サービスロボット技術（リハビリ・介護、災害対応、廃炉をはじめとするサービス分野などで活用されているロボット技術）とその知能化技術に関する研究開発の動向について述べるとともに、その社会実装を進めるまでの課題やそれを解決するために行われている取り組みについて紹介する。



浅 間 一 (Hajime ASAMA)

1984年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。1986年理化学研究所研究員補。同副主任研究員等を経て、2002年東京大学人工物工学研究センター教授。2009年同大学院工学系研究科教授。2019年同研究科人工物工学研究センター長。サービスロボティクス、自律分散・空間知能化、身体性システムの研究、災害対応ロボットの社会実装の活動等に従事。日本学術会議会員。IFAC次期会長。IEEE、日本ロボット学会、日本機械学会のフェロー。工学博士（東京大学）。

「ICT 活用による建設生産性の向上について」

国土交通省 大臣官房 技術調査課 環境安全・地理空間情報技術調整官 野坂 周子

国土交通省では、本年を「生産性革命貫徹の年」と位置づけ、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの全ての建設生産プロセスにおいて、ICT等の活用により建設現場の生産性を向上させる i-Construction を加速させるべく取り組んでいる。取り組みの現状と今後、その他、建設技術に関わる最近の動向について紹介する。

令和元年7月2日(火) 13:30~17:40
(受付は12:30より開始いたします)

定員500名 / CPD 認定 (3.8単位) / 入場無料

■会場■ イイノホール

(東京都千代田区内幸町 2-1-1)

■最寄り駅からの所要時間■

地下鉄日比谷線・千代田線 霞ヶ関駅 C4 出口直結
地下鉄丸ノ内線 霞ヶ関駅 B2 出口から徒歩5分
地下鉄銀座線 虎ノ門駅 9番出口から徒歩3分

■主催■

一般財団法人 先端建設技術センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6 オーク音羽ビル 4 階

TEL 03-3942-3990 / FAX 03-3942-0296

お問い合わせ：総務部／午前 10 時～午後 5 時（土日祝は除く）



プログラム

13:30～ 開会挨拶

13:40～ 特別講演 『ICT 活用による建設生産性の向上について』

国土交通省 大臣官房 技術調査課 環境安全・地理空間情報技術調整官 野坂 周子

14:40～ 「NETIS プラスについて」

研究部 NETIS グループ 主任技師 中原 守

当センターでは、2013年1月よりNETIS プラス新技術情報データベース (NETIS プラス DB) を運用している。NETIS プラス DB では、国土交通省が運用するデータベース「新技術情報システム (NETIS)」の掲載技術だけではなく、NETIS の掲載が終了した技術や、NETIS に未掲載の技術も登録可能である。本報告では、NETIS プラス DB の概要、特徴及び付加価値について紹介する。

(休憩 15:10～15:20)

15:20～ 「インフラ点検分野におけるロボット・AI の活用について」

研究部長 杉谷 康弘

道路橋や道路トンネルの定期点検要領が改定され、インフラ点検へのロボット活用が現実味を帯びてきた。また、AI を損傷の抽出に活用しようとする検討も進んでいる。一方で、これらの技術が導入された場合、紙ベースで点検結果を管理することが生産性向上のボトルネックとなる。インフラ点検分野におけるロボット・AI 技術に関するこのような情勢や、今後の課題等について報告する。

15:50～ 「建設発生土のトレーサビリティシステムについて」

企画部 参事役 高野 昇

2017 および 2018 年に国土交通省から助成を受けた「建設発生土の有効かつ適正利用促進のためのトレーサビリティシステムの開発」についての成果及び 2019 年度以降の実用化に向けた取り組み方針を紹介する。

(休憩 16:30～16:40)

16:40～ 特別講演 『ロボット技術とその知能化～研究開発と社会実装～』

東京大学 人工物工学研究センター長 深間 一

17:40 閉会

参加申込書

お申込みFAX 03-3942-0296

※メールでお申込みの場合は、下記必要事項を明記の上、sentan-2019s@actec.or.jp までお送りください。

■勤務先名

参加者氏名	所属部署／役職	TEL	FAX
ふりがな			
ふりがな			
ふりがな			

■お申し込みについて■

- ・上記参加申込書にご記入の上、メールまたはFAXにてお申込み下さい。
- ・参加申込みが多数の場合は調整させていただく場合があります。
- ・参加証は発行しません。当日は名刺をご用意の上、会場へお越し下さい。
- ・無料駐車場はご用意しておりません。公共交通機関をご利用ください。